

新国立劇場 2021/2022 シーズンオペラ

「ばらの騎士」

(2022年4月3日～4月12日)

オックス男爵役、オクタヴィアン役 出演者変更のお知らせ

平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

2021/2022 シーズンオペラ『ばらの騎士』オックス男爵役に出演を予定しておりましたクリスティン・ジクムントソンは、健康上の理由により出演できなくなりました。また、オクタヴィアン役に出演を予定していたマリア・カタージェワは、本人の都合により出演できなくなりました。このため、以下のとおり出演者を変更して上演致します。

オックス男爵： クリスティン・ジクムントソン → 妻屋秀和

オクタヴィアン： マリア・カタージェワ → 小林由佳

警部： 妻屋秀和 → 大塚博章

報道各位におかれましては、本件公演情報の一般の皆様への周知にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<プロフィール >

妻屋秀和

TSUMAYA Hidekazu



東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。1994～2001年ライプツィヒ歌劇場、02年～11年ワイマールのドイツ国民劇場専属歌手。これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、スコティッシュ・オペラなどに出演。欧州、日本でモーツァルト、ロッシニ、ヴェルディ、プッチーニ、ワーグナー、R.シュトラウス等のオペラの主要な役を80役以上演じており、新国立劇場では『ラ・ボエーム』コッリーネ、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『アイダ』ランフィス、『ナブッコ』ベルの祭司長、『夜叉ヶ池』鉦蔵、『リゴレット』スパラフチーレ、『ヴォツェック』医者、『アラベッタ』ヴァルトナー伯爵、『ドン・カルロ』宗教裁判長、『マノン・レスコー』ジェロント、『ばらの騎士』警部、『ラインの黄金』ファフナー、ファーブルト、『魔笛』ザラストロ、『ルチア』ライモンドなど出演多数。20/21シーズンは『夏の夜の夢』クインス、『フィガロの結婚』バルトロ、『イオランタ』ルネ、『カルメン』スニガに出演。21/22シーズンは『ニュルンベルクのマイスター・ジンガー』ハンス・フォルツ、『さまよえるオランダ人』ダーラントに出演したほか、『ペレアスとメリザンド』アルケルにも出演予定。二期会会員。

## 小林由佳

KOBAYASHI Yuka



国立音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアに留学。二期会『ナクソス島のアリアドネ』作曲家役での端正な舞台姿と高い歌唱力が評価され、その後『蝶々夫人』スズキ、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『イドメネオ』イダマンテ、『ホフマン物語』ミューズ/ニクラウス、『ばらの騎士』オクタヴィアンなどに出演。2019年にはサントリーホール サマーフェスティバルで大野和士指揮『リトゥン・オン・スキン』（日本初演）天使Ⅱ・マリア役を務める。その他、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『ドン・カルロ』エボリ公女、『リゴレット』マッダレーナ、『カルメン』タイロルロール、『ブリーカー街の聖女』デジデーリア、『パルジファル』小姓、などを演じている。新国立劇場では『沈黙』少年、『魔笛』侍女Ⅱ、『アイダ』巫女、『ルチア』アリーサ、『椿姫』フローラ、『夏の夜の夢』ヒポリタ、鑑賞教室『蝶々夫人』

ケート/スズキ、鑑賞教室・関西公演『フィガロの結婚』ケルビーノに出演している。さくらがわ応援大使（茨城県桜川市）。二期会会員。

【資料・写真のご請求、本記事に関するお問い合わせ】

（公財）新国立劇場運営財団 制作部 オペラ広報：高梨木綿子

Tel: 03-5352-5733 / Fax: 03-5352-5709 E-mail: takanashi\_y2525@nntt.jac.go.jp